



株式会社ハチャム 事業概要

令和7年6月23日

株式会社ハチャムの概要

会社の概要	町や民間企業が出資する第3セクター。（代表取締役 佐藤正秀） 町内の豊富な風力のポテンシャルを活用した風力発電設備の導入や太陽光発電設備等の導入を行い、発電及び小売事業に取り組むことで、脱炭素化社会を実現し、脱炭素を手段とした「雇用の創出・定住の促進」「経済の地域内循環」を目指していきます。 出資者：北海道ガス株式会社、素敵な過疎づくり株式会社、厚沢部町
会社の目的	1 電気及び熱などエネルギーの販売事業 2 発電・熱などの創エネルギー事業 3 省エネルギーなどエネルギーの効率化に関する事業 4 エネルギー関連製品やソフトウェアの製造、輸出入、販売 5 エネルギーに関する調査、コンサルティング 6 エネルギー関連事業の提案、企画 7 建築工事の請負 8 カーシェアリング事業 9 厚沢部町等から委託を受けた事務事業の執行 10 厚沢部町の農業振興に係る提案・支援
事業所の所在地	厚沢部町新町95番地3

主な事業の考え方

発電事業

- 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用して開発を進める。
※太陽光…2025～2027年度／風力…2025～2029年度／小水力… 2025～2028年度
※必要な資金は金融機関から調達予定
- 電力需要の獲得状況や収支状況を見ながら、発電所の開発計画をコントロールしていく
- 小水力の通年発電（現在はかんがい期従属）や風力の大型化（300kW→1MW）による年間発電量増加やイニシャル・ランニングコスト低減へ向けた協議を進め、kWhあたりの発電単価圧縮を実現する
- 発電所・蓄電池を所有し、発電した電力は、全量北ガスへ固定価格で販売する
（再エネ発電所登録を行い、市場調達分の非化石証書を調達する）
- 発電所の維持管理は、建設協会を通し、地元事業者の活用を目指す

電力小売事業

- 厚沢部町の全面的なバックアップのもと、開発する発電所の発電量70%以上の販売量を確保することを必達目標として、積極的に営業活動を行っていく
※訴求ポイント：北電の標準メニュー対比△3%～5%の価格設定、地元の再エネ電源を活用、契約者特典（地元で使えるポイント）、収益の一部を町の事業へ還元 等
※地域イベント等への積極的な参加により、認知度を上げていく活動も行う
- 公共施設や民間の高圧契約は、電源開発の進捗状況に合わせて獲得していく
- 申込受付、調定、請求、入金管理業務は、決済条件等の簡素化と低廉な顧客管理システムの活用により徹底的に効率化する（ペーパーレス化の推進、確実な電気料金回収のため、電気料金決済は口座振替またはクレジット決済）
- 出資者である北海道ガス株式会社から状況に応じ、営業活動に関するアドバイスを受ける